

臨時休業中の課題一覧（1学年）

4月24日（金）～5月6日（水）

課 題	
共通	<ul style="list-style-type: none"> ・1日3時間以上の学習をしましょう。 【午前2時間、午後1時間など、学習する時間を決めて、5教科の課題を計画的に！】 ・「さかみち」の1行日記、「休校中の一日の記録」を毎日記入し、生活のリズムを整えましょう。
国語	<p>本を読んで、プリント「私が読んだ一冊（読書記録シート）」をまとめよう。</p> <p>5/6（水）までの間に、本を最低1冊読み、プリント1枚をまとめておく。</p> <p>プリントのうらに、読書記録をまとめるときのポイントを書いておいたので、きちんと読んでやってみましょう。</p>
数学	<ol style="list-style-type: none"> 1. 数友 P. 3～P. 4 を教科書 (P. 8～P. 15) を参考にしながら解く。 解き終わったら答えを見て丸付けをし、間違えたところには正しい答えを記入しておく。 <p>※ あくまでも予習ですので、上記の内容は授業でも取り扱います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 2. プリント「分数の計算」 解き終わったら答え(2. 「分数の計算」の後ろのページにあります。)を見て丸付けをし、間違えたところには正しい答えを記入しておく。 <p>※ 分数の計算は中学校数学でもとても重要です。特に通分や逆数についてよく復習しておきましょう。</p>
英語	<p>楽トレ PENMANSHIP ペンマンシップ p. 2～22（取り組むこと→文字などを書いて覚える。）</p> <p>学習をすすめる3つのポイント</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. アルファベットは、それぞれの文字の見本の下に「<u>書き方</u>」のコツが出ているので、それを意識してから練習（「文字をなぞる」→「自分で書く」の流れ）しましょう。 2. <u>小文字は、文字の高さが異なります。</u>どの高さなのかを意識して覚えましょう。 (参考：ペンマンシップの p. 16 に詳しく書かれています) 3. ローマ字については、英文の中で使用される「<u>ヘボン式</u>」を学びます。小学校で学習したものと異なる文字については、ペンマンシップの p. 18 の表中で shi (シ) のように囲んでいます。自分の名前を書くときにも気をつけましょう。
理科	<ol style="list-style-type: none"> 1 「ワーク本誌」(よくわかる理科の学習1)の2～7ページを、「学習ノート」(くり返しできる学習ノート1)の1～2ページに解く。解き終わったら答えを見て丸付けし、間違えたところには正しい答えを記入しておく。 <p>注1 ワークをくり返し使えるよう、<u>ワーク本誌には書き込まず、学習ノートに解きましょう！</u></p> <p>注2 まだ授業で学習していない内容です。わからないところは、教科書で調べながら解きましょう。</p> <ol style="list-style-type: none"> 2 余裕がある人は、ワークで間違えた問題を、ワーク本誌を見ながら、自主学習ノートに解く。(問題文は書かなくてもよい) <p>ポイント 学習した内容を定着させるには、間違えた問題をそのままにしないことが大切です。もう一度解き直し、覚える(または理解する)まで、くり返し取り組みましょう！</p>
社会	<ol style="list-style-type: none"> 1 プリント <ul style="list-style-type: none"> ・すすめ方については課題プリントの表紙に書いてあります。 2 ワークブック <ul style="list-style-type: none"> ・ワーク本誌には書き込まず、プリントの裏にある解答欄に記入しましょう。 ・分からないところは教科書で調べて解きましょう。○つけは授業が再開してから行います。

臨時休校中（４／２４～５／６）の課題 ２年生

課 題 内 容	
共通	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自主学习ノート 1日 2ページ以上 (1年生の復習 2年生の予習 など) ※ 2年生の予習については新しい教科書を使用して学習を進める。 ※ 英語, 社会以外の各教科の課題を自主学习ノートにやってもよい。 ○ できるだけたくさん読書をする。
国語	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「国語の学習」(ワークブック) P4～P11の問題を教科書をよく読みながら自力で解き, 丸付け, 答え直しも行う。 ○ 「言葉の学習」 P2～P5を書きこみ, 覚えるまで練習する。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ○ ワーク(1年生版 社会のノートに解いて丸付けまでする。) <ul style="list-style-type: none"> ・ 地理Ⅰ<苦手を克服!> P10, 11 20, 21 72, 73 <単元のまとめ> P32, 38, 44, 50, 56, 62 ・ 歴史Ⅰ<まとめよう!> P24, 25(古代) 42, 43(中世)
数学	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2年教科書p178～183 1年のふりかえり を自学ノートを活用して復習する。 ※ 余裕があれば, ワーク「数学の友2」を解いたり, 2年教科書「2章連立方程式」を読んだりしても可です。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ○ ワーク(よくわかる理科の学習2) P2～P9までまとめる。
英語	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1年の教科書P150～151の基本文1～30をそれぞれ3回ずつ家庭学習用ノート(Bノート)に書く。 ○ 2年のワークP2～5をワークに解答して自己採点する。

福島四中第3学年 臨時休業中の課題 4月24日(金)

共通	昨年度購入した受験対策用の教材(5教科)で, 1・2年生の復習を進める。 (※ なかなか進まない人は, A問題だけでもよいので, どんどん進める こと。)
	本日4月24日(金)から, 「さかみち」p4の次ページ「一週間の生活記録」に, 記録を記入する。

3学年の教科書を開いて予習を進める。ワークを進める。 ※ 各教科の授業用ノートを(大学ノートで可)準備しましょう。		
各教科	4月24日(金)～30日(木) 学習内容の目安(進度)	5月1日(金)～6日(水) 学習内容の目安(進度)
国語	<ul style="list-style-type: none"> ■ プリントをやり, 丸つけをする。 わかるところに記名する。 <p>5月7日の登校日に提出する。</p> <p>スタンプポイントになります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「コロナウイルス感染防止」のために臨時休業となりました。 <p>『日々をどのように過ごし, 何を考えたか』について, 4月24日に配付した原稿用紙に600字から800字以内で書きなさい。</p> <p>次の登校日に提出する。 スタンプポイントになります。</p>
数学	<ul style="list-style-type: none"> ■ 教科書p212～213, 215～216 学習内容(図形も含む)をノートに書き写して覚える。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 教科書p218～22「1・2年のふりかえり」 <ol style="list-style-type: none"> ① ノートに書く。(図形も) ② 丸つけをして, 間違えた問題をもう一度ノートに解く。
英語	<ul style="list-style-type: none"> ■ p18～p27(Presentation1～Unit2) <ol style="list-style-type: none"> ① 語句の予習(2学年と同様) ② 本文を3回音読する。 ③ ノートに本文を日本語で要約する。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ p28～p33(Unit2～Daily Scene2) <ol style="list-style-type: none"> ① 語句の予習(2学年と同様) ② 本文を3回音読する。 ③ ノートに本文を日本語で要約する。 <ul style="list-style-type: none"> ■ ワークブックp2～4(2年の復習)
理科	<ul style="list-style-type: none"> ■ 理科の学習p2～p6 <p>問題を「学習ノート」に解き, 丸つけをした後に, できなかったところを自主学習ノートに書いて覚える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 理科の学習p7～p10 <p>問題を「学習ノート」に解き, 丸つけをした後に, できなかったところを自主学習ノートに書いて覚える。</p>
社会	<ul style="list-style-type: none"> ■ 歴史p222～p225 <p>教科書を読んで, ワークp68～69を進める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 歴史p226～p229 <p>教科書を読んで, ワークp70～71を進める。</p>

「才能の差は小さいが, 努力の差は大きい。継続の差は, もっと大きい。」

 の大野智さん